

授業科目(ナンバリング)	博物館資料保存論(CB303)			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
博物館資料及び、その保存・展示環境を科学的に捉え、展示と保存という本来矛盾する博物館業務を円滑に行い、貴重な資料を良好な状態で保存していくための基礎を学ぶ。授業の導入において、講義のポイント及び問題提議を示し、授業内で解決方法を見出していく。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	博物館資料の劣化・虫害・保存環境等に関心を持ち、博物館資料の保存についての必要性とその方法を理解することができる。				レポート	60%	
情報収集、分析力	博物館に於ける資料の収蔵施設と管理方法について、様々な状況における情報収集ができ、解決方法を分析する力を養うことができる。				小テスト	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	資料ごとの保存方法を指摘することができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価はレポート 60%、小テスト 30%、授業態度・授業への参加度 10%の配分で行う。定期試験はレポート提出により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。小テストはそれまでの授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを評価基準とし、ポートフォリオで課題のフィードバックを行う。							
授業の概要							
博物館における資料保存の基礎的知識の修得を目指す。日本の伝統的保存意識を学び、現代博物館の資料保存理念、IPM、虫害、文化財レスキューを概説する。授業はパワーポイントを使用した講義形態とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。 参考書：青木豊編『人文系資料保存論』雄山閣(2013) 指定図書：青木豊編『人文系資料保存論』雄山閣(2013)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
博物館資料保存論は、学芸員資格を取得するための必修科目である。日頃より博物館を見学し、博物館資料の保存環境や劣化等に関心を持つことを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語や携帯電話、飲食及び理由のない遅刻・途中退出は認めない。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	資料保存の目的と意義	人文系博物館、中でも歴史・民俗系博物館の設立の第一義である資料保存意識とその具体を論じる。	資料保存の復習と経年劣化の予習。
2	資料の経年劣化の種類と対策	温度・湿度・酸素・光・損壊因子とこれらが及ぼす資料の材質を見極める。	経年劣化の復習と伝統的保存法の予習。
3	日本の伝統的保存方法	土蔵・桐箱を中心に、日本文化が有する伝統的保存意識を紹介する。E・S・モースの防虫意識。	伝統的保存法の復習と予習。
4	日本文化にみる防虫意識	虫害の歴史と日本人の防虫意識を理解する。具体的には樹種の選定・曝涼・梶子・黄麻紙・藍・煙等の日本文化にみる防虫意識を紹介する。	伝統的保存法の復習と正倉院の予習。
5	修理・修復の歴史	正倉院宝物にみる資料の修理と修復の歴史を学ぶ。	修理・修復の復習と予習。
6	修理・修復 I	正倉院・城の修理。	修理・修復の復習と修理の3原則の予習。
7	修理・修復 II	考古資料の修理・修復。遺跡の保存。修理の3原則。	修理の3原則の復習とIPMの予習。
8	IPM（総合有害生物管理法）	地球にやさしい保存方法について説明し、博物館におけるIPMの現状を理解する。	IPMの復習と害虫の予習。
9	博物館害虫の種類と特質 I	紙資料・植物質への食害虫の種類と特質を概説する。	害虫の復習と予習。
10	博物館害虫の種類と特質 II	動物質への食害虫の種類と特質を概説する。	害虫の復習と収蔵庫の予習。
11	収蔵庫の保存環境	収蔵庫の温湿度の一定化と防虫を考える。具体的にドライエリア・落とし壁構造・樋部倉矧・慣らし室等について説明する。	収蔵庫の復習と保存科学の予習。
12	科学的保存方法 I	高松塚古墳保存に関する課題を概説する。遺跡の遺構移築保存について説明する。	保存科学の復習と予習。
13	科学的保存方法 II	海外の遺跡における移築保存を概説する。	保存科学の復習との予習。
14	資料の防災管理 I	資料の防災管理を概説する。	保存保存の復習と文化財レスキューの予習。
15	資料の防災管理 II	具体的な資料の防災管理方法を学ぶ。	文化財レスキューの復習。
16	定期試験	レポート	レポートの準備